

MAKOTO WADA: WORKS ON FILM



和田誠画『巴里のアメリカ人』(2011年) 画像提供：和田誠事務所

展覧会

和田誠 映画の仕事

2023.12.12 (火) — 2024.3.24 (日)

日本を代表するグラフィックデザイナー、イラストレーターの和田誠(1936-2019)にとって、映画は人生の友であり、創造の泉でもありました。

少年期からの映画への情熱に支えられ、若手デザイナーとして頭角を現すや、本職の傍ら映画ポスターの制作やアニメーション映画にも挑みました。やがてその味わいある画風は広く支持され、世界の映画人を描いた無数のイラストレーションや、映画をめぐる著書や対談集を続々と送り出してゆきます。さらにその情熱は日本映画界を動かし、監督修業の経験なしに『麻雀放浪記』(1984年)をはじめ4本の優れた長篇娯楽映画を監督するに至りました。

また私生活でも、熱意をもってアメリカ映画のフィルムやポスターのコレクションを築き、当館も2015年の展覧会「ポスターでみる映画史 Part 2 ミュージカル映画の世界」にそのコレクションをご貸与いただきました。

その博覧強記にもかかわらず、「評論家」ではなく常に“映画ファン”を自称していた和田誠。この展覧会は、日本が生んだこの最高の“映画ファン”の限りない映画愛を感じ取れる絶好の機会となるでしょう。

和田誠 略歴

1936年生まれ。多摩美術大学図案科(現グラフィックデザイン学科)を卒業後、1959年に広告制作会社ライトパブリシティに入社。1968年に独立後、グラフィックデザイナー、イラストレーターとしてさらなる活躍を続け、映画監督、エッセイ、歌の作詞・作曲などさまざまな分野で業績を残した。たばこ「ハイライト」のデザインや「週刊文春」の表紙は国民的に知られるほか、数多くの書籍の挿画や装丁を手がけ、絵本も発表している。2019年に逝去。



撮影：吉田宏子

見どころ

1. 膨大な業績の中から映画だけにテーマを絞った初の展示

和田誠の約60年にわたる仕事は多岐にわたりますが、本展では映画にテーマを絞り、映画を「知った・描いた・語った・集めた・撮った」という5つの切り口によって振り返ります。

2. 手がけた映画ポスターや装丁した映画書が勢ぞろい

若き日の「日活名画座」ポスターから劇場公開用・映画祭などのポスターまで、そして俳優・監督などのイラストレーションを活かしつつ装丁を手がけた映画書の数々をお楽しみいただけます。

3. 《監督・和田誠》に再注目！

『麻雀放浪記』『快盗ルビイ』『怖がる人々』『真夜中まで』の4つの優れた長篇娯楽作品を放ち、異業種監督でありながらスタッフにも慕われたという映画監督としての和田誠に改めて注目します。

4. 映画フィルムやポスターのコレクションを公開

アメリカ映画を愛した和田誠の情熱は、映画フィルムやポスターのコレクションにも向かいました。当館で受領することになったこれらコレクションの一端を公開します。

5. 監督作の映画音楽やお気に入りの映画の曲が聴ける

4つの監督作品で使われた音楽・主題歌のほか、和田誠が生涯愛したアメリカ映画の名曲の数々を聴ける音楽展示コーナーをご用意いたします。

展覧会の構成

I 映画を知った

映画館通いに励んだ少年時代とポスター作りへの志



中学時代にアメリカ映画に夢中になった和田誠は、高校生になるとヨーロッパ映画や日本映画への関心も深め、それと同時に、国立近代美術館で催された「世界のポスター」展(1953年)を訪れた経験から「ポスターを作る人になりたい」という望みを育みます。そして多摩美術大学に在学中、映画『夜のマルグリット』の手描きポスターで当時若手デザイナーの登竜門だった日宣美賞の受賞を果たしました。

和田誠作「国立近代美術館『アメリカ映画史講座 チャップリンの歩み』ポスター (1959年) 国立映画アーカイブ所蔵

II 映画を描いた

映画ポスターへの挑戦、そして華麗な映画人イラストレーション

大学卒業後、広告制作会社ライトパブリシティに入社した和田誠はデザイナーとして活躍を始めますが、その傍ら、東京新宿の「日活名画座」のためにポスターを無償で制作するようになります。以降半世紀以上にわたり、映画ポスター、映画書の装丁・挿画などを手がけ、国内外の俳優・監督・映画スタッフから評論家に至るまで、映画人の似顔絵を数えきれないほど手がけることになりました。

III 映画を語った

「お楽しみはこれからだ」——終わらない映画談義と映画書の数々



映画のさまざまなシーンについて抜群の記憶力を持っていた和田誠は、1973年から「キネマ旬報」で連載「お楽しみはこれからだ」を開始し、軽妙なタッチで映画の名セリフやシーンの魅力を語り尽くしました。その後も映画にまつわる数々の著作を残しましたが、さらに山田宏一や三谷幸喜などとの対談本でも終わらない映画談義に花を咲かせ、読者を大いに楽しませました。

和田誠著『お楽しみはこれからだ (Part 1)』(1975年) 国立映画アーカイブ所蔵

IV 映画を集めた

仕事場は映画館だった——和田誠の映画&ポスターコレクション

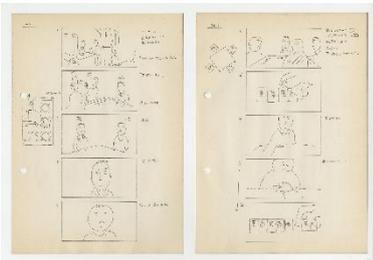


映画をめぐる和田誠のさまざまな活動の中で、比較的知られてこなかったのが映画フィルムやポスターなどの収集です。収集したフィルムは300本以上に及び、またアメリカ映画のオリジナル版ポスターのコレクションも長年続け、ときには自身の監督作品のセットを飾りました。さらに映画関連の洋書やスチル写真など、イラストレーション制作の参考となる資料も豊富に所有していました。

(左) 和田誠旧蔵『キス・ミー・ケイト』(1953年、ジョージ・シドニー監督) アメリカ版ポスター 国立映画アーカイブ所蔵
(右) 和田誠事務所のフィルム収蔵庫 撮影：吉田宏子

V 映画を撮った

アニメーションへの情熱、そして劇映画監督としての道のり



『麻雀放浪記』(1984年、和田誠監督) 絵コンテ(複製) 個人蔵(澤井信一郎氏旧蔵)

アニメーション『MURDER!』(1964年)で評価されていた和田誠でしたが、名プロデューサー角川春樹との出会いを通じて、初めての劇場用長篇映画『麻雀放浪記』(1984年)を作ることになります。同作品はその堂々たる完成度で多くの賞を受賞しましたが、その後も『快盗ルビイ』(1988年)、『怖がる人々』(1994年)、『真夜中まで』(2001年公開)と多彩な長篇作品を残しています。

関連書籍

展示会の開催にあわせて、公式図録『和田誠 映画の仕事』を発売します。

〈展示会公式図録〉

『和田誠 映画の仕事』

[監修] 国立映画アーカイブ [発行] 国書刊行会

[刊行予定日] 2023年12月12日

仕様：A4変型判・並製／予価：本体3,500円＋税

トークイベント

展示会「和田誠 映画の仕事」会期中、ゲストをお招きしてトークイベントを開催いたします。

トークイベント——《監督・和田誠》を忘れない！

《監督・和田誠の素顔》

日時：2024年1月20日（土） 場所：展示室ロビー（7階）

講師：関口裕子氏（「キネマ旬報」元編集長）

《和田誠作品の映画美術》

日時：2024年2月10日（土） 場所：展示室ロビー（7階）

講師：小澤秀高氏（『麻雀放浪記』美術助手、『怖がる人々』美術監督）

《企画の見どころと展示品解説》

日時：2024年3月16日（土） 場所：展示室内（7階）

講師：岡田秀則（当館主任研究員）

開催概要

	<p>和田誠 映画の仕事 (英題 / Makoto Wada: Works on Film)</p> 
主催	国立映画アーカイブ
協力	和田誠事務所、多摩美術大学アートアーカイヴセンター
会期	2023年12月12日 [火] - 2024年3月24日 [日]
休室日	月曜日および12月26日 [火] - 1月4日 [木]
開室時間	午前11時 - 午後6時30分 (入室は午後6時まで) *1/26、2/23の金曜日は開室時間を午後8時まで延長いたします。(入室は午後7時30分まで)
会場	国立映画アーカイブ 展示室 (7階)
アクセス	東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分 都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分 東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分 JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分
料金	<p>一般 250円 (200円) / 大学生 130円 (60円) / 65歳以上、高校生以下及び18歳未満、障害者手帳をお持ちの方(付添者は原則1名まで)、国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズは無料 *料金は常設の「日本映画の歴史」の入場料を含みます。* () 内は20名以上の団体料金です。 *学生、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方、キャンパスメンバーズの方は入室の際、証明できるものをご提示ください。 *国立映画アーカイブが主催する上映会の観覧券 (オンラインチケット「購入確認メール」またはQRコードのプリントアウト) をご提示いただくと、1回に限り団体料金が適用されます。</p>
お問合せ	050-5541-8600 (ハローダイヤル)
HP	https://www.nfaj.go.jp/exhibition/makotowada2023/
関連上映	<p>上映企画「NFAJコレクション 2024 冬」 会期：2024年1月19日 (金) - 2月4日 (日) ※金・土・日曜のみ 会場：国立映画アーカイブ 小ホール [地下1階] 上映企画の中で和田誠監督作『麻雀放浪記』(1984年)、『快盗ルビイ』(1988年)、『怪盗ジゴマ 音楽篇』(1988年)、参加作『恋の大冒険』(1970年、羽仁進監督) などの上映を予定しています。</p>

【本展覧会に関するお問合せ】

国立映画アーカイブ 事業広報担当：横田 / 展示・資料室：岡田・藤原

〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6 MAIL : pr@nfaj.go.jp TEL : 03-3561-0823 FAX : 03-3561-0830

広報用画像 & 読者プレゼント招待券 申請書

展覧会「和田誠 映画の仕事」

送付先 国立映画アーカイブ 広報担当 メール：pr@nfaj.go.jp FAX：03-3561-0830

* 広報用画像をご希望の方は、本プレスリリースに掲載されている画像右下の番号をご参照の上、貸出を希望されるデータの□にチェックをつけ、上記の宛先までをご送付ください。

<input type="checkbox"/>	①	和田誠作「国立近代美術館『アメリカ映画史講座 チャップリンの歩み』」ポスター（1959年）国立映画アーカイブ所蔵
<input type="checkbox"/>	②	和田誠画『巴里のアメリカ人』（2011年）画像提供：和田誠事務所
<input type="checkbox"/>	③	和田誠著『お楽しみはこれからだ（Part 1）』（1975年）国立映画アーカイブ所蔵
<input type="checkbox"/>	④	和田誠旧蔵『キス・ミー・ケイト』（1953年、ジョージ・シドニー監督）アメリカ版ポスター 国立映画アーカイブ所蔵
<input type="checkbox"/>	⑤	和田誠事務所のフィルム収蔵庫 撮影：吉田宏子
<input type="checkbox"/>	⑥	『麻雀放浪記』（1984年、和田誠監督）絵コンテ[複製] 個人蔵（澤井信一郎氏旧蔵）

※太字の作品名・制作年・日本公開年・監督名・著作権表記は掲載必須です。

画像データ貸出希望日時	月	日	時頃までに希望
読者プレゼント招待券	組	名（合計	枚） 希望します

プレス・イメージ貸出条件

1. 画像は、展覧会紹介の目的にのみご使用ください。2. データを第三者に渡すことは禁じます。使用后、画像データは消去してください。3. 展覧会の名称、期間、会場は、適切な場所、大きさを明示していただくようお願いいたします。4. 作品画像は全図で使用してください。部分使用やトリミング、作品に文字を重ねることはできません。5. 画像を掲載される際には、イメージ貸出時に添付するクレジットをご記載ください。6. 掲載紙（誌）は、1部、広報担当宛にご寄贈ください。webサイトの場合は、掲載時にお知らせください。

* 画像データ(JPEG)にてお貸出いたします。その際、一緒にお送りするキャプションもご確認ください。

* 掲載前に、校正紙をお送りください。お送りいただけない場合、掲載内容についての責任は当方では負いかねます。

お名前： _____ ご所属・媒体名： _____

出版物・放送番組名： _____

TEL： _____ FAX： _____

メールアドレス： _____